

# SEIKO

取扱説明書

---

I N S T R U C T I O N S

Mechanical Watch

M-6

この度は弊社製品をお買い上げいただき、  
誠にありがとうございました。

ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、  
正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

- ※ 金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。  
ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、  
弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくは  
お取扱いいただけない場合があります。

# 目次

## 1. この製品について

製品取扱上のご注意	4
メカニカルウォッチの特長	8
各部の名称	9
りゅうずについて	11
ぜんまいの巻きかた	12
パワーリザーブ表示の見かた	14

## 2. 時刻・曜日・日付の合わせかた

時刻・曜日・日付の合わせかた	16
時刻の合わせかた	17
曜日・日付の合わせかた	18

月末の日付修正について	20
-------------	----

## 3. ご注意いただきたいこと

お手入れについて	22
性能と型式について	23
防水性能について	24
耐磁性能について（磁気の影響）	26
バンドについて	28
皮革バンド用三つ折れ式 中留（なかどめ）の使いかた	30
ルミブライトについて	35
アフターサービスについて	36

#### 4. 困ったときは

こんなときは ..... 38

#### 5. 製品仕様

メカニカルウォッチの精度について..... 40

製品仕様 ..... 42

# 製品取扱上のご注意



## 警告

取り扱いを誤った場合に、重症を負うなどの重大な結果になる危険性が想定されることを示します。

・ 次のような場合、ご使用を中止してください

- 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
- バンドのピンが飛び出してきた場合

※ すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

・ 乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください

部品を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。

万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。



## 注意

取り扱いを誤った場合に、軽症を負う危険性や物質的損害をこうむることが想定されることを示します。

### ・以下の場所での携帯・保管は避けてください

- 揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
- 5℃～35℃から外れる温度に長期間なるところ
- 高湿度なところ
- 磁気や静電気の影響があるところ
- ホコリの多いところ
- 強い振動のあるところ

### ・アレルギーやかぶれを起こした場合

ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。

### ・その他のご注意

- 金属バンドの調整はご自身でやらないでください。  
手や指などをケガする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。
- 商品の分解・改造はしないでください。
- 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。  
ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。

 警告

**この時計はスキューバダイビングや飽和潜水には  
絶対に使用しないでください**

BAR（気圧）表示防水時計はスキューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる苛酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバーズウォッチをご使用ください。

 注意

**水分のついたまま、りゅうずやボタンを  
操作しないでください**

時計内部に水分が入ることがあります。

※ 万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。  
お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。



**水や汗、汚れが付着したままにしておくのは  
避けてください**

防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。



**入浴やサウナの際はご使用を避けてください**

蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。



**直接蛇口から水をかけることは避けてください**

水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。

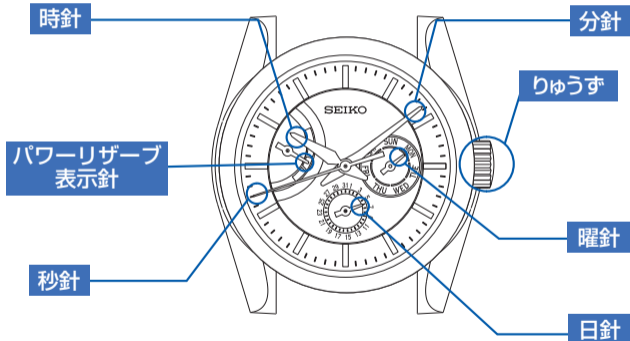


## メカニカルウォッチの特長（手巻、自動巻）

- ・この時計は「ぜんまい」を動力に使用した、メカニカルウォッチです。
- ・止まった状態からご使用になるときは、りゅうずを20回位手で巻いてぜんまいを巻き上げてから始動させてください。
- ・精度はクォーツウォッチが月差・年差であるのに対し、メカニカルウォッチは日差（一日あたりの進み・遅れ）となります。
- ・さらに、ご使用になる条件（携帯時間、温度、腕の動き、巻き上げ量等）によって微妙に影響を受けますので、誤差は一定ではありません。
- ・外部から強い磁気の影響を受けると、一時的に精度がズれることがあります。影響の度合いによっては、部品が磁化してしまうことがあります。その場合は、磁気抜き等の修理が必要となりますので、お買い上げ店にご依頼ください。

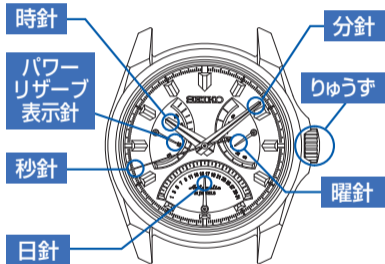
# 各部の名称

6R20 / 6R21

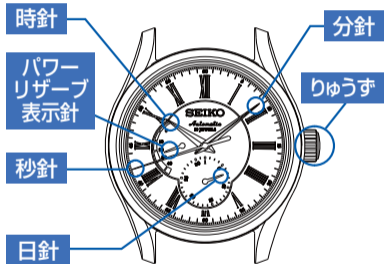


※モデルによって目盛りなどのデザインは異なります。  
※パワーリザーブ表示針の向きは異なる場合があります。

6R24



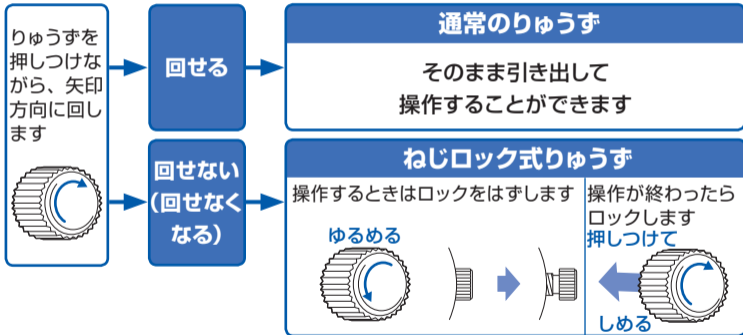
6R27



※モデルによって目盛りなどのデザインは異なります。

# りゅうずについて

りゅうずには、通常のものと同ロックできる構造のもの、2つのタイプがあります。お使用の時計のりゅうずをご確認ください。



※ ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。

※ ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこわすおそれがありますので、ご注意ください。

## ぜんまいの巻きかた

- 1 この時計は、自動巻式機械時計（手巻つき）です。
- 2 ぜんまいは時計を腕につけた状態では通常の腕の動きで自然に巻くことができます。またりゅうずを回してもぜんまいを巻くこともできます。
- 3 ぜんまいの巻き上げ状態がわかるパワーリザーブ表示つきです。
- 4 止まっている時計をお使いになるときは、時計を振っても動き出しますが、りゅうずを回しぜんまいが十分に巻かれた状態にしまして、日付と曜日と時刻とを合わせてから腕にお付けください。ぜんまいを巻く際には、りゅうず 0 段位置で右回転方向に（12 時方向）にゆっくりと回してください。なお、りゅうずは左方向（6 時方向）では空回りするようになっています。また、ぜんまいはフル巻き上げ状態でぜんまいがスリップするようになっており、ぜんまいを切る心配はありません。
- 5 パワーリザーブ表示針がフル巻き上げ表示になるまでぜんまいを巻いてください。ぜんまいが十分に巻き上げられた状態での可動時間は約 45 時間です。

※ぜんまいの巻き上がり量についてはP.14「パワーリザーブ表示の見かた」をご参照ください。



- 0段目（ぜんまい巻き上げ）
- ・右回転→ぜんまい巻き上げ
  - ・左回転→空回り

※ぜんまいの巻き上げ量が不足しますと進み遅れの原因になりますので、1日10時間以上携帯することをお勧めします。また、時計を腕につけないでご使用される場合は、毎日一定の時刻にりゅうずを回しぜんまいを十分に巻いてご使用ください。

※ぜんまいが解けて止まった状態からお使いの場合、りゅうずでぜんまいを巻き上げても直ぐには動きません。機械式時計の特徴でぜんまい巻き始めのぜんまいトルク（力）が弱いためです。ぜんまいが巻かれてある程度の強いトルクに達すると秒針が動き始めますが、早めに動かすためには、時計を振り、てんぶを強制的に回転させることで動かすことができます。

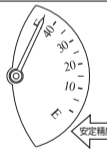

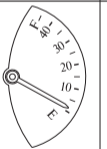
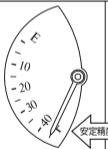
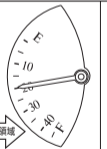
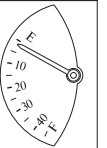
# パワーリザーブ表示の見かた

- ・パワーリザーブ表示でぜんまいの巻き上げ具合を確認できます。
- ・下の図のように、針が目盛りの40もしくはFの近辺をさしているときがフル巻き上げ状態です。

巻き上げ残量が減っていくにしたがって針は0もしくはEのほうへ移動してきます。

※メカ時計の精度はぜんまいの巻き上げ量に影響を受けます。巻き上げ残量が20時間以下の状態で長時間使用されると安定した精度が得られにくいため、巻き上げ残量が「20時間～フル巻き上げ」の間でのご使用をおすすめします。

※ぜんまいはフル巻き上げ状態になると、それ以上はスリップするようになっており、巻きすぎてもぜんまいを切る心配はありません。

	6R20 / 6R24			6R21 / 6R27		
パワーリザーブ針の表示						
ぜんまいの状態	フル巻き上げの状態	半分程度巻き上がった状態	巻き上げ無しの状態	フル巻き上げの状態	半分程度巻き上がった状態	巻き上げ無しの状態
持続時間	約45時間動きます。	約20時間動きます。	時計は止まっているか、止まる直前の状態です。	約45時間動きます。	約20時間動きます。	時計は止まっているか、止まる直前の状態です。

※モデルによって目盛りなどのデザインは異なります。数字などの表示がない場合でも、上記の図を目安におよその持続時間を読み取ってください。





## 時刻・曜日・日付の合わせかた

この時計には、「日付と曜日表示機能」がついています。

※ 6R27 の場合は「日付表示機能」のみとなります。

24 時間に 1 回「日付と曜日」を一日分送るようになっています。日付は「午前 0 時」ごろ、曜日は「午前 2 時」ごろ送り終わるようになっています。

よって、午前午後をまちがえて時刻合わせをしてしまいますと、お昼の「12 時」ごろに日付（曜日は午後 2 時ごろ）が変わってしまいます。

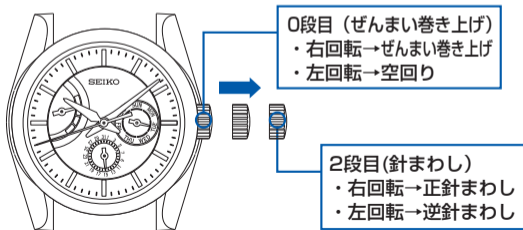


- 時刻表示が午後 9 時 30 分から午前 2 時までの間は「日・曜修正不可能区間」のためりゅうずを回しても、日・曜修正はできません。  
なお、万ーりゅうずを回しても、故障の発生はありません。

## ■時刻の合わせ方

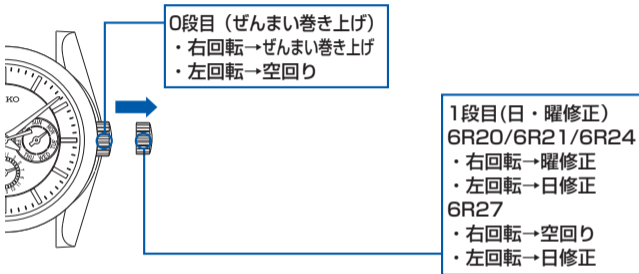
- 1 ぜんまいが十分に巻かれていることを確認した上で、秒針が 12 時位置にきたときに、りゅうずを2段目に引き出します。(秒針が止まります。)
- 2 りゅうずを回転させ、針が進む方向に回し、午前・午後に注意しながら、「時針」と「分針」とを現在時刻に合わせます。
- 3 時報と同時にりゅうずを0段まで押し込むと動き出します。

※時刻合わせは電話の時報サービス TEL117 が便利です。



## ■ 曜日・日付の合わせ方

- 1 りゅうずを1段目まで引き出してください。この状態でりゅうずを回転させて修正を行ないます。
- 2 右回転（12時方向）2クリックで1日分「曜針」が動きます。確認しながら合わせてください。  
〈6R24の場合〉
  - ※曜日の中間位置で合わせないでください。
  - ※「土曜日」からりゅうずを更に回転させると「日曜日」に飛びます。
  - ※「土曜日」からりゅうず早回しで合わせた場合、「日曜日」を通り越し「月曜日」に飛ぶことがあります。その際はりゅうずをゆっくり回し、再度合わせ直してください。
- 3 左回転（6時方向）1クリックで1日分「日針」が動きます。確認しながら合わせてください。  
〈6R24の場合〉
  - ※「31日」からりゅうずを更に回転させると「1日」に飛びます。



### ⚠️ ご注意

- 当ムーブメント輪列機構上から時刻を合わせる際には、針をいったん正しい時刻よりやや遅らせておき、それから進めて合わせるようにしてください。

## ■月末の日付修正について

2月（1カ月が28日、うるう年は29日）と小の月（1カ月が30日）では日付の修正が必要になります。

2

【例】小の月の翌月1日の朝、日付を修正する場合

「1日」ではなく「31日」が表示されています。りゅうずを1段目に引き出してください。りゅうずを左回転させ、日付を「1日」に合わせ、りゅうずを押し込んでください。



- 1段目(日・曜修正)  
6R20/6R21/6R24
  - ・右回転→曜修正
  - ・左回転→日修正
- 6R27
  - ・右回転→空回り
  - ・左回転→日修正

## ご注意

- 時刻表示が午後 9 時 30 分から午前 2 時までの間は「日・曜修正不可能区間」のためりゅうずを回しても、日・曜修正はできません。  
なお、万ーりゅうずを回しても、故障の発生はありません。

# お手入れについて

## ●日ごろからこまめにお手入れしてください

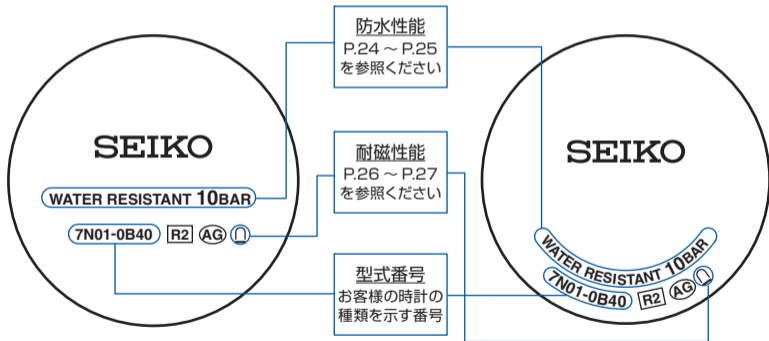
- ・ りゅうずを引き出して洗わないでください。
- ・ 水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
- ・ 海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。  
その際、直接蛇口から水をかけることは避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。  
※「非防水」、「日常生活用防水」の場合は、おやめください。  
→ 性能と型式について P.23 防水性能について P.24

## ●りゅうずは時々回してください

- ・ りゅうずのさび付きを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ・ ねじロック式りゅうずの場合も同様です。 → りゅうずについて P.11

# 性能と型式について

時計の裏ぶたで性能と型式の確認ができます。



※上の図は例であり、お買い上げいただいた時計とは異なる場合があります。



## 防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を  
下記の表でご確認の上ご使用ください。

(「P.23」をご覧ください)

3

ご注意いただきたいこと

裏ぶた表示	防水性能
防水性能表示なし	非防水です。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で 5 気圧防水です。
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	日常生活用強化防水で 10 (20) 気圧防水です。

## お取扱方法

水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。

日常生活での「水がかかる」程度  
の環境であれば使用できます。





**警告** 水泳には使用しないで下さい。

水泳などのスポーツに使用できます。

空気ポンベを使用しないスキンドайビングに使用できます。

## 耐磁性能について（磁気の影響）

この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

裏ぶた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気製品より 5 cm以上遠ざける必要があります。 (JIS1 種)
	
	磁気製品より 1 cm以上遠ざける必要があります。 (JIS2 種)

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気の除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているひげぜんまいが、外からの強い磁力の影響を受けます。

## 時計に影響を及ぼす身の周りの磁気製品例



携帯電話  
(スピーカー部)



AC アダプター



バッグ  
(磁石の止め金)



交流電気かみそり



電磁調理器



携帯ラジオ  
(スピーカー部)



磁気ネックレス



磁気健康枕

# バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

## ●金属バンド

- ・ ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- ・ 手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ・ 水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- ・ バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。（時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。）  
残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- ・ チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- ・ さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- ・ 万が一、ピンが飛び出している場合は、怪我をするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

## ●皮革バンド

- ・ 水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ・ 水がかかったときや汗をかいた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- ・ 直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- ・ 色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- ・ 時計本体が日常生活用強化防水 10 (20) 気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

## ●ポリウレタンバンド

- ・ 光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- ・ 特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- ・ 汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。  
(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)
- ・ 弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

かぶれやアレルギー  
について

バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。

バンドサイズの  
めやすについて

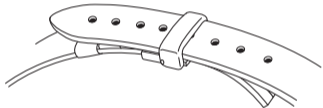
バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。  
時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。



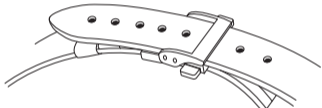
## 皮革バンド用三つ折れ式中留（なかどめ）の使いかた

皮革バンドには、調整可能な三つ折れ式中留を用いたものがあります。  
お買い上げの時計の中留が、下記のいずれかにあてはまる場合は、  
それぞれの操作方法をご参照ください。

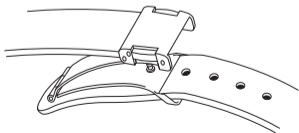
**A** Aタイプ → P.31



**B** Bタイプ → P.32

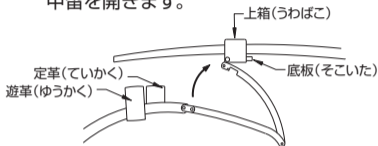


**C** Cタイプ → P.34

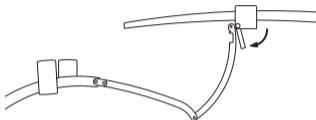


## A Aタイプの使いかた

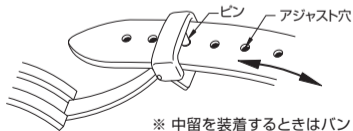
- ① バンドを定革、遊革から抜いて、中留を開きます。



- ② 上箱の底板を下に開きます。



- ③ ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴にもう一度入れます。



- ④ 底板を閉めます。

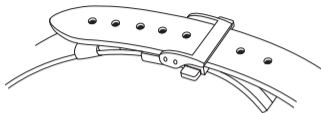


※ 底板を押しこみ過ぎないようにしてください。

※ 中留を装着するときはバンド剣先(先端)を定・遊革に入れてから、中留をしっかり留めてください。



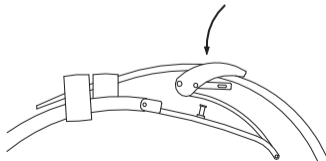
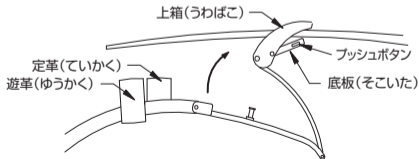
## B タイプの使いかた



3

### ・着脱のしかた

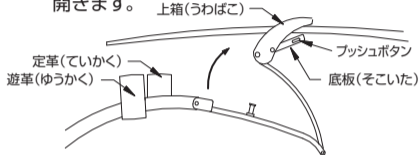
- ① プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。
- ② バンドの剣先（先端）を定革・遊革に入れてから上箱を上から、しっかり押さえて留めます。



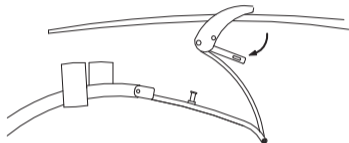
ご注意いただきたいこと

## ・バンドの長さを調節するには

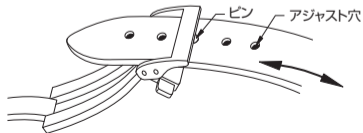
- ① プッシュボタンを両側から押しながらバンドを定革・遊革から抜いて、中留を開きます。 上箱(うわばこ)



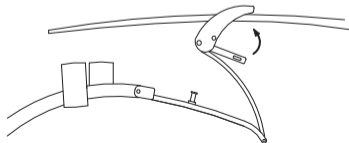
- ② もう一度プッシュボタンを押し、底板を下に開きます。



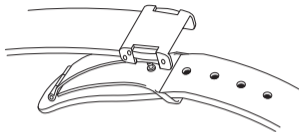
- ③ ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところで、ピンをアジャスト穴に入れます。



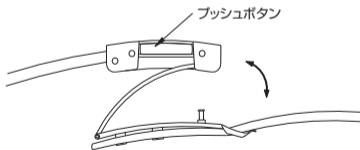
- ④ 底板を閉めます。



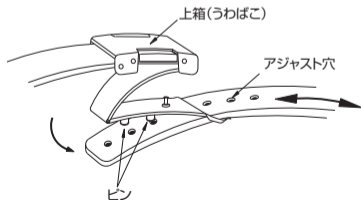
## C Cタイプの使いかた



- ① プッシュボタンを両側から押しながら中留を開きます。



- ② ピンをアジャスト穴から外します。バンドを左右にスライドさせ、適切な長さのところまで、ピンをアジャスト穴に入れます。上箱を押して、中留を留めます。



# ルミブライトについて

## お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間（約 10 分間：500 ルクス以上）で吸収して蓄え、暗い中で長時間（約 3 時間～ 5 時間）発光します。光が当たらなくなってから輝度（明るさ）は、時間の経過とともに弱まります。なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※ 一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐには順応しません。初めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。（目の暗順応）

※ ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光（蓄えた光を放出する）塗料です。

### <照度のめやすについて>

環 境		明るさ（照度）のめやす
太陽光	晴れ	100,000 ルクス
	くもり	10,000 ルクス
屋内（昼間窓際）	晴れ	3,000 ルクス以上
	くもり	1,000 ～ 3,000 ルクス
	雨	1,000 ルクス以下
照明 （白色蛍光灯 40W の下で）	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス（通常室内レベル）
	4m	250 ルクス

# アフターサービスについて

## ●保証と修理について

- ・修理や点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
- ・保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりです。  
保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- ・保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

## ●修理用部品について

- ・この時計の修理用部品の保有期間は、通常7年を基準としています。
- ・修理の際、一部代替品を使用させていただくことがありますので、ご了承ください。

## ●点検調整のための分解掃除（オーバーホール）について

- ・長くご愛用いただくために、2年～3年に1度程度の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします。
- ・この時計のムーブメントは、機構の性質上動力を伝達する歯車部分に常に力が加わっています。これらが常に機能するためには、定期的な部品の洗浄、油の交換、精度調整、機能チェック、消耗品の交換などが大切です。特にご購入後2年～3年目の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）を行うことが、長く使用するためには重要です。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、時刻の進み、遅れが大きくなったり止まりにいたることがあります。またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の浸入などで防水性能が損なわれる場合があります。  
点検調整のための分解掃除（オーバーホール）は、「純正部品」とご指定の上、ご購入店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- ・点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

## こんなときは

現象	考えられる原因
時計が止まった。	ぜんまいのエネルギーが無くなった。
毎日使用しているがパワーリザーブ表示が上がらない。	携帯時間が少ないか、あるいは腕の動きが少ない
時計が一時的に進む / 遅れる	磁気を発生するもののそばに置いた。
	落としたり強くぶつけたり、また激しいスポーツをした。 強い振動が加えられた。
	3年を超え長時間、点検調整、分解掃除を行っていない。
ガラスのくもりが消えない。	パッキンの劣化などにより時計内部に水分が入った。
日付が、日中に変わる。	時刻合わせが 12 時間ずれている。

※ このほかの現象についてはお買い上げ店、またはお客様相談窓口にご相談ください。

このようにしてください	参照ページ
ぜんまいを巻き上げ、時刻を合わせ直してご使用ください。携帯中や時計を外す際は、パワーリザーブ表示の針を確認し、必要に応じてぜんまいを巻いてください。	ぜんまいの巻きかた P12
携帯する時間を長くしていただくか、時計を外す際のパワーリザーブ表示の残量が次に使用されるまでの時間分に足りない場合には、りゅうずを回してぜんまいを巻き上げてください。	
磁気を発生する機器から遠ざけてください。その後作動していることを確認し時計を合わせ直してください。磁気の大さによっては、その後の影響を受けることがありますので、その際はお買い上げ店にご相談ください。	時刻の合わせかた P17
精度は元に戻りません。お買い上げ店にご相談ください	—
お買い上げ店にご相談ください。	—
お買い上げ店にご相談ください。	—
12 時間、針を進めて日付、曜日を合わせ直してください。	時刻・曜日・日付の 合わせかた P16



## メカニカルウォッチの精度について

- メカニカルウォッチの精度は「日差」です。
- メカニカルウォッチの精度は時計の姿勢（向き）によって、進み／遅れ具合が変わり、またお客様のご使用になる条件（携帯時間・温度・腕の動き・ぜんまいの巻き上げ量など）により、所定の精度の範囲を超える場合があります。
- 1日のみの誤差で判断せず1週間程度の誤差で判断するようにしてください。
- 精度の温度差
  - ・メカニカルウォッチの精度を作る部分には金属が使われています。金属の特性として、温度の変化によって伸び縮みすることは良く知られています。これが時計の精度に影響を与えます。メカニカルウォッチは高温下では遅れがちになり低温下では進みがちになります。

## ● ぜんまいの巻き具合と精度

精度を高めるためには、歯車の速度をコントロールするてんぷに規則正しくエネルギーを補給する事が重要です。メカニカルウォッチの動力源であるぜんまいは、いっぱい巻かれている状態とほどける直前の状態では力が異なり、ほどけるにしたがって力が弱くなっていきます。

自動巻き式は頻繁に携帯していただく事で、また手巻き式はぜんまいを毎日一回一定の時刻に十分に巻き上げて規則正しく動かす事で、比較的安定した精度が得られます。

## ● 磁気の影響

外部から強い磁気の影響を受けると、一時的に精度がズれることがあります。影響の度合いによっては、部品が磁化してしまう事があります。

その場合は磁気抜き等の修理が必要となりますので、お買い上げ店にご依頼ください。

## 製品仕様

機種	6R20／6R21	6R24	6R27
1.機能	6針		5針
	時間表示(時針、分針、秒針)・日針・ 曜針・パワーリザーブ表示針		時間表示(時針、分針、秒針)・ 日針・パワーリザーブ表示針
2.振動数	28,800振動／時間(8振動／秒)		
3.精度	日差 +25秒～-15秒 (常温5℃～35℃において)		
4.持続時間	最大巻上時 約45時間		
5.駆動方式	ぜんまい巻(自動巻〈手巻つき〉)		
6.使用石数	29石	31石	29石

※上記精度は工場出荷時に調整されたものです。

※メカニカルウオッチの特性上、ご使用になる条件(携帯時間、温度、腕の動き、ぜんまいの巻き上がり量など)によっては上記精度の範囲を超える場合があります。

Thank you very much for choosing a SEIKO watch.  
For proper and safe use of your SEIKO watch,  
please read carefully the instructions in this  
booklet before using.

Keep this manual handy for easy reference.

- ※ Length adjustment service for metallic bands is available at the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.  
The service may also be available on a chargeable basis at other retailers, however, some retailers may not undertake the service.

# CONTENTS

## 1. About this Product

Handling cautions .....	46
Characteristics of mechanical watches (manual winding model, automatic winding model) ...	50
Names of the parts .....	51
Crown .....	53
How to use the automatic mechanical watch ...	54
How to read the power reserve indicator ...	56

## 2. How to set the time, day and date

How to set the time, day and date ...	58
How to set the time .....	59

How to set the day and date ...	60
---------------------------------	----

Date adjustment at the beginning of the month ...	62
---	----

## 3. TO PRESERVE THE QUALITY OF YOUR WATCH

Daily care .....	64
Performance and type .....	65
Water resistance .....	66
Magnetic resistance .....	68
Band .....	70
Special clasps .....	72
Lumibrite .....	77
After-sale service .....	78

## 4.Troubleshooting

Troubleshooting ..... 80

## 5.Specifications

Accuracy of Mechanical Watches ... 82

Specifications ..... 84

1

2

3

4

5

# Handling cautions



## WARNING

To indicate the risks of serious consequences such as severe injuries unless the following safety regulations are strictly observed.

- Immediately stop wearing the watch in following cases.
  - If the watch body or band becomes edged by corrosion etc.
  - If the pins protrude from the band.
  - ※ Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER.
  
- Keep the watch and accessories out of the reach of babies and children.

Care should be taken to prevent a baby or a child accidentally swallowing the accessories. If a baby or child swallows the battery or accessories, immediately consult a doctor, as it will be harmful to the health of the baby or child.

## CAUTION

To indicate the risks of light injuries or material damages unless the following safety regulations are strictly observed.

- **Avoid the following places for wearing or keeping the watch.**

- Places where volatile agents (cosmetics such as polish remover, bug repellent, thinners etc.) are vaporizing
- Places where the temperature drops below 5°C or rises above 35°C for a long time
- Places affected by strong magnetism or static electricity
- Places affected by strong vibrations
- Places of high humidity
- Dusty places

- **If you observe any allergic symptoms or skin irritation**

Stop wearing the watch immediately and consult a specialist such as a dermatologist or an allergist

- **Other cautions**

- Do not adjust the metal band yourself, as there is a risk of hand or finger injuries and losing parts.
- Do not disassemble or tamper with the watch.
- Keep the watch out of the reach of babies and children.  
Extra care should be taken to avoid risks of any injury or allergic rash or itching that may be caused when they touch the watch.



**⚠ WARNING****Do not use the watch in scuba diving or saturation diving.**

The various tightened inspections under simulated harsh environment, which are usually required for watches designed for scuba diving or saturation diving, have not been conducted on the water-resistant watch with the BAR (barometric pressure) display. For diving, use special watches for diving.

**⚠ CAUTION****Do not turn or pull out the crown when the watch is wet.**

Water may get inside of the watch.

※ If the inner surface of the glass is clouded with condensation or water droplets appear inside of the watch for a long time, the water resistant performance of the watch is deteriorated. Immediately consult the retailer from whom the watch was purchased or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER (listed on the end of a book).

## CAUTION



### **Do not leave moisture, sweat and dirt on the watch for a long time.**

Be aware of a risk that a water resistant watch may lessen its water resistant performance because of deterioration of the adhesive on the glass or gasket, or the development of rust on stainless steel.



### **Do not wear the watch while taking a bath or a sauna.**

Steam, soap or some components of a hot spring may accelerate the deterioration of water resistant performance of the watch.



### **Do not pour running water directly from faucet.**

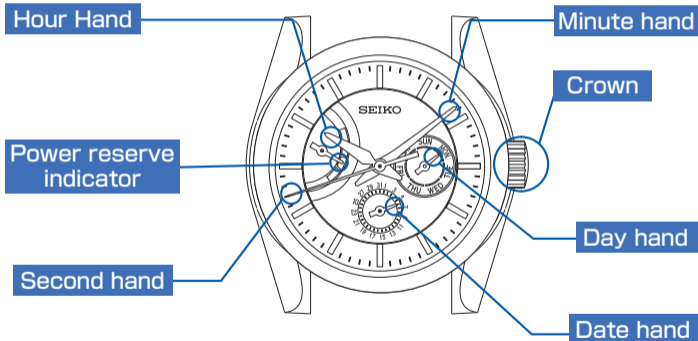
The water pressure of tap water from a faucet is high enough to degrade the water resistant performance of a water resistant watch for everyday life.

## Characteristics of mechanical watches (manual winding model, automatic winding model)

- This is a mechanical watch that uses the mainspring as its power source.
- When starting to use a watch after it stops, turn the crown approximately 20 times by hand to wind the mainspring.
- Accuracy of mechanical watch is indicated by a daily rate (loss or gain per one day), while that of quartz watch is indicated by a monthly or annual rate.
- Accuracy of mechanical watch may slightly vary depending on the various conditions of use (such as the length of time during which the watch is worn on the wrist, temperature environment, arm movement, and winding state of the mainspring).
- When affected by a strong magnetism from outside, the mechanical watch may temporarily lose or gain time. The parts of the watch may become magnetized depending on the extent of the effect. In such a case, consult the retailer from whom the watch was purchased since the watch requires repair including demagnetizing.

# Names of the parts

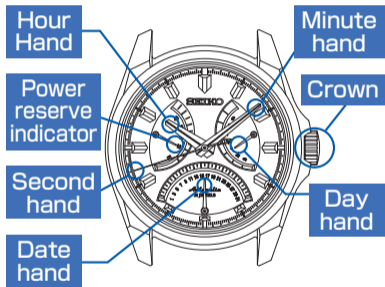
6R20 / 6R21



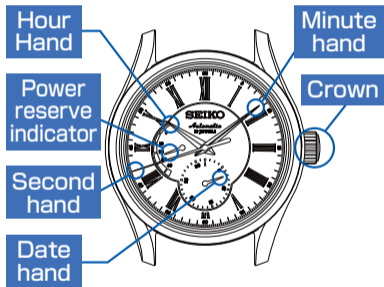
※The design of the index is different depending on the model.

※The direction of the power reserve indicator is different depending on the model.

6R24



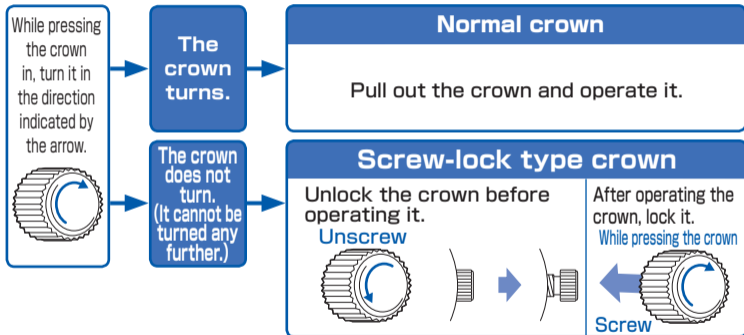
6R27



※ The design of the index is different depending on the model.

# Crown

There are two types of crowns, a normal crown and a screw-lock crown.



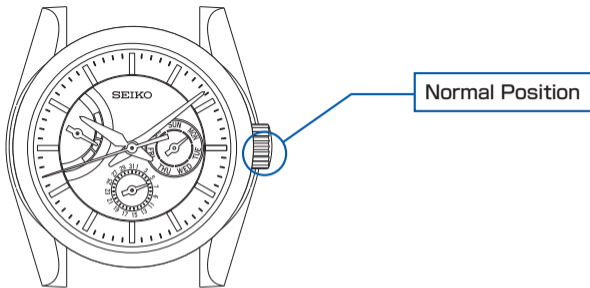
※ If your watch has a screw-lock crown, the crown screws into the watch to prevent malfunction and increase water resistance.

※ Be careful not to screw the crown in by force as it may damage the slots of the crown.

## How to use the automatic mechanical watch

- 1** This is an automatic mechanical watch with manual winding mechanism.
- 2** When the watch is worn on the wrist, the mainspring is wound automatically through normal wrist movement.  
The watch can also be wound up by turning the crown. To do so, unscrew the crown by turning it counterclockwise.
- 3** To start the watch after it stops completely, wind it up either by turning the crown or swinging it from side to side until the second hand starts moving. Then, set the time and date before putting the watch on the wrist.  
To wind up the watch, unscrew the crown by turning it counterclockwise, and then, turn it clockwise slowly. The watch cannot be wound by turning the crown counterclockwise.
- 4** In the case of a model with the power reserve indicator, wind up the watch until the power reserve indicator shows a full-wound state. The watch is wound up fully. (Turning the crown further will not break the spring) Once the watch is wound up fully, it operates for about 45 hours.

※ To check the winding state of the mainspring, refer to "How to read the power reserve indicator" on page 56.



- ※ If the watch is used without being wound up fully, gain or loss of the watch may result.  
To avoid this, wear the watch for more than 10 hours a day. If the watch is used without wearing on the wrist; if it is used on the desk like a clock, for example; be sure to wind it up fully every day at a fixed time.
- ※ If you use a watch that has stopped with the mainspring unwound, winding the mainspring with the crown will not start the watch immediately. That is because the mainspring torque (force) is low at the beginning of its winding due to the characteristics of mechanical watches. The second hand starts to move when a certain degree of strong torque is reached after the mainspring has been wound up.  
However, swinging the watch from side to side to forcibly turn the balance can start the watch sooner



# How to read the power reserve indicator

- The power reserve indicator lets you know the winding state of the mainspring.
- Before removing the watch from your wrist, observe the power reserve indicator to check if the watch has enough power stored to keep running until the next time you wear it. If necessary, wind the mainspring. (To prevent the watch from stopping, wind the mainspring to store the excess power that will allow the watch to run for extra time.)

	6R20 / 6R24			6R21 / 6R27		
Power Reserve Indicator						
The winding state of the mainspring	Fully wound	1/2 wound	Unwound	Fully wound	1/2 wound	Unwound
The number of hours the watch can run	Approximately 45 hours	Approximately 20 hours	The watch either stops or is running down.	Approximately 45 hours	Approximately 20 hours	The watch either stops or is running down.

- ※ When the mainspring is fully wound, the crown can be turned further without damaging the mainspring itself. The mainspring of the watch employs a slipping mechanism to prevent the mainspring from over-winding.
- ※ The orientation of "the power reserve indicator" may slightly vary depending on the model.



## How to set the time, day and date

- Check that the watch is operating, and then set the time, day and date.  
※ In 6R27, there is only a date display.
- The watch is provided with a day and date function and is so designed that the day and date changes once every 24 hours. The date changes around 12 o'clock midnight, and the day around 2:00 a.m. If AM/PM is not properly set, the date will change around 12 o'clock noon, and the day around 2:00 p.m.

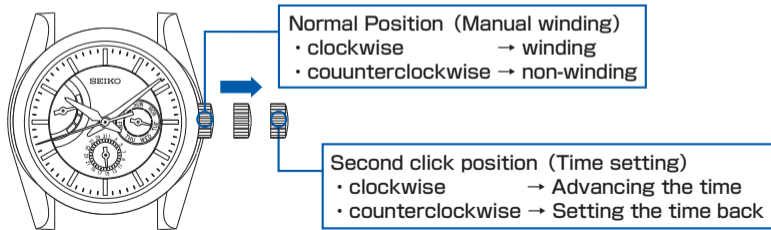
### CAUTION

- It cannot set the day and date for "The no setting period" during 2:00 a.m. from 9:30 p.m.  
Even if you turn the crown, the watch does not break down.

## ■ How to set the time

- 1 After making sure that the mainspring is sufficiently wound, pull out the crown to the second click when the second hand is at the 12 o'clock position. The second hand stops on the spot.
- 2 Turn the crown to advance the hour and minute hands until they indicate the current time. Make sure that AM/PM is correctly set.
- 3 Push the crown back in to the normal position in accordance with a time signal.

※ The telephone time signal service is helpful for setting the second hand exactly.



## ■ How to set the day and date

**1** Pull out the crown to the first click. (The second hand continues moving and the accuracy of the watch is unimpaired.)

**2** The day can be set by turning the crown clockwise.

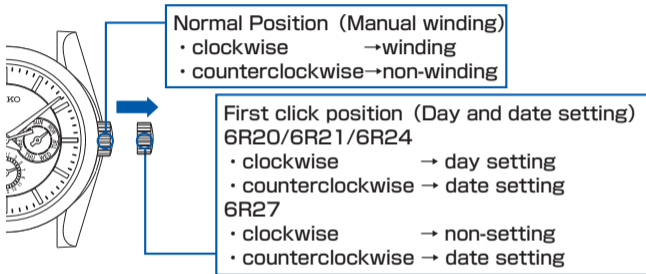
<for Cal. 6R24>

- Do not set the day hand to point to an intermediate position between two day indicators.
- If you turn the crown after the day hand points to Saturday, the day hand jumps back and stops pointing to Sunday.
- If you fast forward the day hand after it points to Saturday, the day hand may jump back and forward to point to Monday, skipping Sunday. If this happens, turn the crown slowly to reset the day hand again.

**3** The date can be set by turning the crown counterclockwise.  
Turn it until the previous day's date appears.

<for Cal. 6R24>

- If you turn the crown after the date hand points to "31" , the date hand jumps back and stops pointing to "1" .



 **CAUTION**

- The mechanism of mechanical watches is different from that of quartz watches. When setting the time, be sure to turn back the minute hand a little behind the desired time and then advance it to the exact time.

## ■ Date adjustment at the beginning of the month

It is necessary to adjust the date on the first day after a month that has less than 31 days.

Ex.) To adjust the date in the a.m. period on the first day of a month following a 30-day month.

- 1 The watch displays "31" instead of "1". Pull out the crown to the first click.
- 2 Turn the crown to set the date to "1" and then push the crown back into the normal position.



First click position (Day and date setting)

6R20/6R21/6R24

- clockwise → day setting
- counterclockwise → date setting

6R27

- clockwise → non-setting
- counterclockwise → date setting

 CAUTION

- It cannot set the day and date for "The no setting period" during 2:00 a.m. from 9:30 p.m.  
Even if you turn the crown, the watch does not break down.



# Daily care

## ● The watch requires good daily care

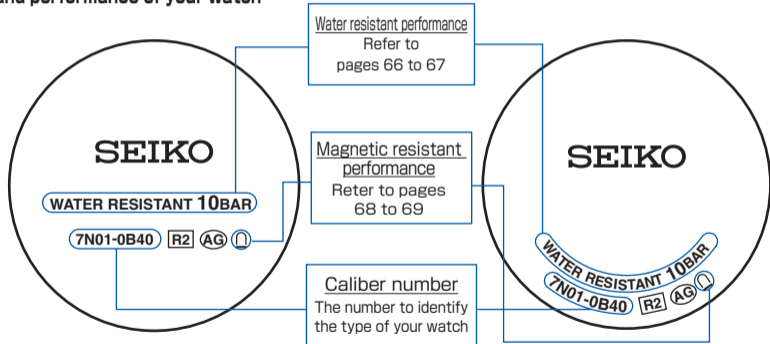
- Do not wash the watch when its crown is at the extended position.
- Wipe away moisture, sweat or dirt with a soft cloth
- To clean the clearances (around the metallic band, crown or case back), a soft toothbrush is convenient.
- After soaking the watch in seawater, be sure to wash the watch in clean pure water and wipe it dry carefully.
- ※ If your watch is rated as “non-water resistant” or “water resistant for daily use,” do not wash the watch.
  - Performance and type → page 65.
  - Water resistance → page 66.

## ● Turn the crown from time to time

- In order to prevent corrosion of the crown, turn the crown from time to time.
- The same practice should be applied to a screw lock type crown.  
(No need to pull out the screw lock type crown.)  
Crown → page 53

# Performance and type

The case back shows the caliber and performance of your watch



※ The figure above is one example. Performance of your watch is different from above sample.

# Water resistance

Refer the table below for the description of each degree of water resistant performance of your watch before using.

(Refer to " page 65 ")

Indication on the case back	Water resistant performance
No indication	Non-water resistance
WATER RESISTANT	Water resistance for everyday life
WATER RESISTANT 5 BAR	Water resistance for everyday life at 5 barometric pressures
WATER RESISTANT 10 (20) BAR	Water resistance for everyday life at 10(20) barometric pressures.

## Condition of use

Avoid drops of water or sweat

The watch withstands accidental contact with water in everyday life.



**WARNING**



Not suitable for swimming

The watch is suitable for sports such as swimming.

The watch is suitable for diving not using an air cylinder.

# Magnetic resistance

Affected by nearby magnetism,  
a watch may temporarily gain or lose time or stop operating.

Indication on the case back	Condition of use
No indication	Keep the watch more than 5 cm away from magnetic products. (JIS level-1 standard)
	
	Keep the watch more than 1 cm away from magnetic products. (JIS level-2 standard)

If the watch becomes magnetized and its accuracy deteriorates to an extent exceeding the specified rate under normal use, the watch needs to be demagnetized. In this case, you will be charged for demagnetization and accuracy readjustment even if it happens within the guarantee period.

The reason why watch is affected by magnetism

The built-in balance spring is provided with a magnet, which may be influenced by a strong external magnetic field.

## Examples of common magnetic products that may affect watches



Cellular phone  
(speaker)



AC adapter



Bag  
(with magnet buckle)



AC-powered  
shaver



Magnetic  
cooking device



Portable radio  
(speaker)



Magnetic  
necklace



Magnetic  
health pillow

# Band

The band touches the skin directly and becomes dirty with sweat or dust. Therefore, lack of care may accelerate deterioration of the band or cause skin irritation or stain on the sleeve edge. The watch requires a lot of attention for long usage.

## ● Metallic band

- Moisture, sweat or soil will cause rust even on a stainless steel band if they are left for a long time.
- Lack of care may cause a yellowish or gold stain on the lower sleeve edge of shirts.
- Wipe off moisture, sweat or soil with a soft cloth as soon as possible
- To clean the soil around the joint gaps of the band, wipe it out in water and then brush it off with a soft toothbrush.  
(Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- Because some titan bracelets use pins made of stainless steel, which has outstanding strength, rust may form in the stainless steel parts.
- If rust advances, pins may poke out or drop out, and the watch case may fall off the bracelet, or the clasp may not open.
- If a pin is poking out, personal injury may result. In such a case, refrain from using the watch and request repair.

## ● Leather band

- A leather band is susceptible to discoloration and deterioration from moisture, sweat and direct sunlight.
- Wipe off moisture and sweat as soon as possible by gently blotting them up with a dry cloth.
- Do not expose the watch to direct sunlight for a long time.
- Please take care when wearing a watch with light-colored band, as dirt is likely to show up.
- Refrain from wearing a leather band watch other than Aqua Free bands while bathing, swimming, and when working with water even if the watch itself is water-resistant enforced for daily use (10-BAR water resistant) .

## ● Polyurethane band

- A polyurethane band is susceptible to discoloration from light, and may be deteriorated by solvent or atmospheric humidity.
- Especially a translucent, white, or pale colored band easily adsorbs other colors, resulting in color smears or discoloration.
- Wash out dirt in water and clean it off with a dry cloth.  
(Protect the watch body from water splashes by wrapping it up in plastic wrap etc.)
- When the band becomes less flexible, have the band replaced with a new one. If you continue to use the band as it is, the band may develop cracks or become brittle over time.

Notes on skin  
irritation and allergy

Skin irritation caused by a band has various reasons such as allergy to metals or leathers, or skin reactions against friction on dust or the band itself.

Notes on the  
length of the band

Adjust the band to allow a little clearance with your wrist to ensure proper airflow. When wearing the watch, leave enough room to insert a finger between the band and your wrist.

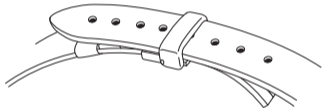




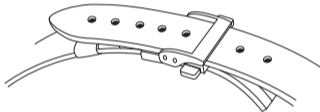
## Special clasps

There are 3 type of special clasps as described below;  
If the clasp of the watch you purchased is one of them,  
please refer to the indications.

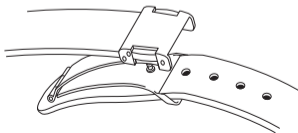
**A** A Type → page 73



**B** B Type → page 74

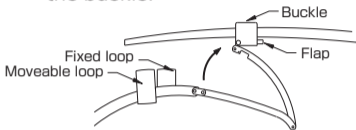


**C** C Type → page 76

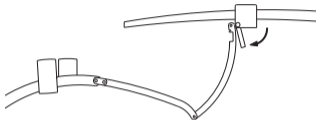


## A A Type

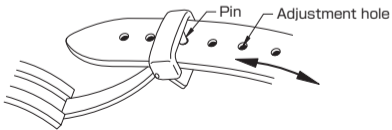
- 1 Lift up the clasp to release the buckle.



- 2 Open the flap.



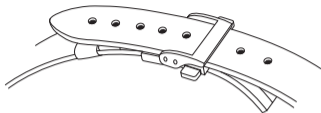
- 3 Take the pin out of the adjustment hole, adjust the size of the strap by sliding it back and forth, and then put the pin back into the appropriate adjustment hole.



- 4 Close the flap.

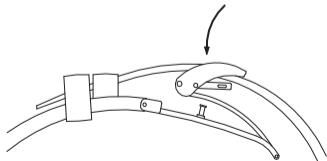
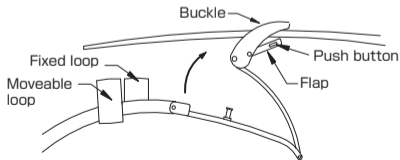


## B B Type



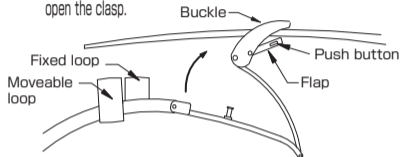
### • How to wear or take off the watch

- 1** Press the button on both sides of the flap ; pull the buckle up.  
The band will automatically come out of the loop.
- 2** Place the tip of the band into the moveable loop and fixed loop, and fasten the clasp by pressing the frame of the buckle.

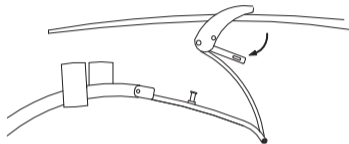


## • How to adjust the length of the leather band

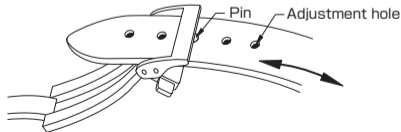
- 1** With pressing buttons on both sides of the flap, pull the leather band out of the moveable loop and fixed loop. Then open the clasp.



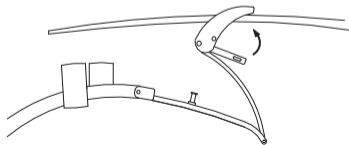
- 2** Press the push buttons again to unfasten the flap.



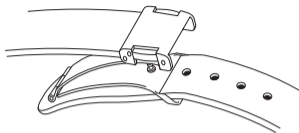
- 3** Pull the pin out of an adjustment hole of the band. Slide the band to adjust its length and find an appropriate hole. Place the pin into the hole.



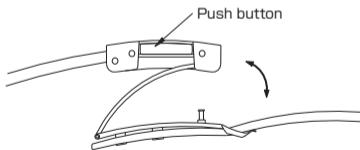
- 4** Fasten the buckle with pressing the push buttons.



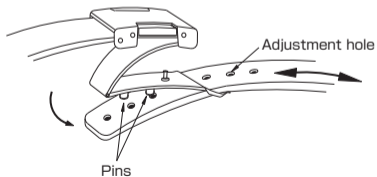
## C C Type



- 1** Press the button on the buckle, and lift to open the clasp.



- 2** Pull the pins out of the adjustment holes on the band. Slide the band to the appropriate length. Push the pins into the new holes on the band.



# Lumibrite

## If your watch has Lumibrite

Lumibrite is a luminous paint that is completely harmless to human beings and natural environment, containing no noxious materials such as radioactive substance.

Lumibrite is a newly-developed luminous paint that absorbs the light energy of the sunlight and lighting apparatus in a short time and stores it to emit light in the dark.

For example, if exposed to a light of more than 500 lux for approximately 10 minutes, Lumibrite can emit light for 3 to 5 hours. Please note, however, that, as Lumibrite emits the light it stores, the luminance level of the light decreases gradually over time. The duration of the emitted light may also differ slightly depending on such factors as the brightness of the place where the watch is exposed to light and the distance from the light source to the watch.

Condition		Illumination
Sunlight	Fine weather	100,000 lux
	Cloudy weather	10,000 lux
Indoor (Window-side during daytime)	Fine weather	more than 3,000 lux
	Cloudy weather	1,000 to 3,000 lux
	Rainy weather	less than 1,000 lux
Lighting apparatus (40-watt daylight fluorescent light)	Distance to the watch: 1 m	1,000 lux
	Distance to the watch: 3 m	500 lux (average room luminance)
	Distance to the watch: 4 m	250 lux

# After-sale service

## ● Notes on guarantee and repair

- Contact the retailer the watch was purchased from or SEIKO CUSTOMER SERVICE CENTER for repair or overhaul.
- Within the guarantee period, present the certificate of guarantee to receive repair services.
- Guarantee coverage is provided in the certificate of guarantee. Read carefully and retain it.
- For repair services after the guarantee period has expired, if the functions of the watch can be restored by repair work, we will undertake repair services upon request and payment.

## ● Repair parts

- The repair parts of this watch will be retained usually for 7 years.
- Some alternative parts may be used for repair if necessary.

## ● Inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul)

- Periodic inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul) is recommended approximately once every 2 to 3 years in order to maintain optimal performance of the watch for a long time. The power transmission gear of the movement of this watch constantly receives force. To ensure that this mechanism works properly all the time, washing parts, changing oil, adjusting accuracy, checking functions and replacing consumable parts on a regular basis are important. The first overhaul after the purchase of your watch is particularly important for preserving long-time use of your watch. According to use conditions, the oil retaining condition of your watch mechanical parts may deteriorate, abrasion of the parts due to contamination of oil may advance or delay the time significantly, or the watch itself may stop. As the parts such as gasket may deteriorate, water-resistant performance may be impaired due to intrusion of perspiration and moisture. Please contact the retailer from whom the watch was purchased for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul). For replacement of parts, please specify "SEIKO GENUINE PARTS." When asking for inspection and adjustment by disassembly and cleaning (overhaul), make sure that the gasket and push pin are also replaced with new ones.



# Troubleshooting

Problem	Possible cause
The watch stops operating.	The power supplied by the mainspring has been consumed.
Even though the watch is worn every day, the power reserve indicator does not move up.	The watch is worn on your wrist only for a short time, or the amount of the arm movement is too small.
The watch gains/ loses temporarily.	The watch was brought into close contact with a magnetic object.
	You dropped the watch, hit it against a hard surface or wore it while playing active sports. The watch was exposed to strong vibrations.
	The watch has not been overhauled for more than 3 years.
The glass is blurred and the blur persists for a long time.	Water got inside the watch due to deterioration of the gasket, etc.
The date changes at 12 o'clock noon.	AM/PM is not properly set.

※ For the solution of troubles other than listed above, contact the retailer from whom the watch was purchased.

Solution	参照ページ
Wind the mainspring and reset the time. While wearing the watch or before taking it off, check the power reserve indicator, and wind the mainspring if necessary.	How to use the automatic mechanical watch P54
Wear the watch for a longer time. Before removing the watch from your wrist, observe the power reserve indicator to make sure that the watch has enough power stored to keep running until the next time you wear it. If necessary, wind the mainspring.	
Normal accuracy will resume when the watch is kept away from close contact with the magnetic source. If this condition persists, consult the retailer from whom the watch was purchased.	How to set the time P59
The normal accuracy will not resume. Consult the retailer from whom the watch was purchased.	—
Consult the retailer from whom the watch was purchased.	—
Consult the retailer from whom the watch was purchased.	—
Advance the hands by 12 hours and reset the date and day.	How to set the time, day and date P58

# Accuracy of Mechanical Watches

- The accuracy of mechanical watches is indicated by the "daily rate."
- The accuracy of mechanical watches may not fall within the specified range of time accuracy because loss/gain changes due to the position of the watch, which is dependent on the conditions of use, such as the length of time during which the watch is worn on the wrist, arm movement, and whether the mainspring is wound up fully or not, etc.
- The loss/gain of mechanical watches is not measured by a daily rate, but by daily rates of one week or so.
- Accuracy variation according to temperature
  - The parts that compose the accuracy of mechanical watches are made of metals. It is well known that metals expand or contract depending on temperatures due to metal properties. This exerts an effect on the accuracy of the watches. Mechanical watches tend to lose time at high temperatures while they tend to gain time at low temperatures.

## ● Mainspring wound condition and accuracy

In order to improve accuracy, it is important to regularly supply energy to the balance that controls the speed of the gears. The driving force of the mainspring that powers mechanical watches varies between when fully wound and immediately before it is unwound. As the mainspring unwinds, the force weakens.

Relatively steady accuracy can be obtained by wearing the watch on the wrist frequently for the self-winding type and winding up the mainspring fully everyday at a fixed time to move it regularly for the wind-up mechanical type.

## ● Effect of magnetism

When affected by a strong magnetism from outside, the mechanical watch may lose/gain time temporarily. The parts of the watch may become magnetized depending on the extent of the effect. In such a case, consult the retailer from whom the watch was purchased since the watch requires repair including demagnetizing.

# Specifications

Cal.	6R20/6R21	6R24	6R27
1.Function	6 hands		5 hands
	Time display (Hour, minute and second hands), day and date display, power reserve indicator		Time display (Hour, minute and second hands), date display, power reserve indicator
2.Vibrations per hour	28,800/Hour		
3.Loss/gain (daily rate)	+25 ~ -15seconds at normal temperature range (between 5°C and 35°C)		
4.Continuous operating time	More than approx. 45 hour		
5.Driving system	Automatic winding type with manual winding mechanism		
6.Jewels	29 jewels	31 jewels	29 jewels

※The accuracy above is factory-adjusted.

※Due to the characteristics of mechanical watches, any actual daily rate may not fall within the range of time accuracy specified above dependent on the conditions of use, such as the length of time during which the watch is worn on the wrist, temperature, arm movement, and whether the mainspring is wound up fully or not, etc.

全国共通フリーダイヤル 0120-612-911

お客様相談室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル

〒550-0013 大阪市西区新町 1-4-24 大阪四ツ橋新町ビルディング

**セイコーウォッチ株式会社**

本社 〒105-8467 東京都港区虎ノ門 2-8-10

<http://www.seiko-watch.co.jp/>

6R20 6R21 6R24 6R27

BSB6R2C-A1206

セイコーウォッチ株式会社